

「地元で培った力を全く違う気候や風土の土地で試したかった」と語るのは、今年4月から姉妹都市・高知市からの派遣職員として、市民税課に勤務している野田真也さんです。

「初めての北海道で、毎日がとても新鮮です。信号機が縦長、家と家との間隔が広い、風が強い、日の出が早い、5月なのに雪が降ったなどなど：北見に住み始めて、3ヶ月ですが色々なカルチャーショックがありました」と話します。

以前から市民税課で働きたかったという野田さんは、高知市で国民健康保険や後期高齢者医療など福祉行政で勤務。複雑な各種制度の説明に苦労した経験から、市の業務の中でもさまざまな分野と係りの深い税の仕組みを学びたいと希望しました。

「北見はパークゴルフ場や公園、体育館などスポーツ施設の他、市内に手軽に入れる温泉が多くありとてもいいですね。マラソン大会や地ビールのイベントなど



念願叶っての北海道。 経験を生かして発信していきたい。

のお祭りも多くてこれからが楽しみです」と話します。

「高知は野付牛公園のような大きい公園はありませんが、平地が狭く海と山が接近しているので、カツオなどの海の幸と山菜と一緒に食べられます。高知人はイラレ（短気）の人が多いですが、よさこい祭りでも分かるように、明るくて前向きな人間が多いですね。それに加えて、お酒好きが多く、お遍路さんの影響もあってか『おもてなしの文化』が浸透していて、県外からのお客さんは高知人の人なつっこさに驚く人も多いようです」と笑顔を見せます。

推理小説や歴史、雑学が趣味。休日は図書館に通って、新聞をはじめさまざまな分野の本を読みます。「北海道は開拓して初めて人が住み始めたと思っていましたが、古代先住民の人達がいたということを知って驚きました。常呂の遺跡は是非行って、この地方の歴史を勉強してみたい」と好奇心一杯に話していました。



高知市派遣職員

野田 真也さん(32)

紹介します！きたみの活動団体 第9回 懐かしの名画を観る会

「懐かしの名画を観る会」は、昭和53年に映画が好きな仲間4人が集まり設立され、映像文化の普及、啓発や生涯学習の推進さらに市民交流の促進を図るため、これまで自主上映鑑賞会を67回（上映作品数232本）開催されてきました。今年で35周年を迎え、記念として、「会設立35周年記念優良名画鑑賞会」を7月にシアターボイス（まちきた大通りビルバラボ6階）で行います。

上映される作品は、今年のアカデミー賞でサイレント映画として83年ぶりに作品賞など5部門を制した白黒映画の「アーティスト」。「新しいけど古くて懐かしい」という作品のコンセプトが、会の記念上映にふさわしいということで選定しました。

代表の森谷さんは、「中央と比べて北見市の文化的条件は不利であり、映画鑑賞の場合は特に顕著です。しかし観たい映画が観られないという不満は黙っていても解消されません。観たい映画を自主上映し、多くの市民の方々にも観てもらうことが私たちの一貫した理念であります。」と話していました。

詳細 市民協働推進課 ☎25-1227（北2条仮庁舎）

アカデミー賞作品賞受賞!!
最多5部門受賞! 脚本・監督・主演・編集・音楽賞

白黒&サイレントで描き上げる甘く切ない感動の愛の物語。

同時上映
「シアターボイス」
歴代上映作品数最多劇場
7月11日(金)～15日(火)

懐かしの名画
成スター一躍
8月1日(金)～18日(土)
北見市市民会館
高知市市民会館
高知市にて

と き 7.14(土)～8.3(金)

と ころ シアターボイス
北見市大通り西2丁目バラボ6階

※17時～24時開演日を除く。※14歳以上。定額1,000円。※15:30、※18:00
※高知市市民会館はシアターボイス、日産ビル、アークセンターにて放映中!

前売券 1,000円

主催/懐かしの名画を観る会（第68回映画鑑賞会）
共催/シアターボイス
後援/北見市、北見市青年委員会、北見文化連盟
お問い合わせ/TEL.0157-25-9903



気管支喘息

普通に息をしている時の胸や喉では音はしませんが、時々ゼーゼー・ヒューヒューと音がするヒトがいます。この音を喘鳴（ぜんめい）と呼びます。気管支（鼻や口から空気を肺まで運ぶ管）に原因があって喘鳴がおこる病気が気管支喘息（ぜんそく）です。

気管支喘息という病気であっても、いつもゼーゼーしている訳ではありません。普段はなんともないのですが、何かのきっかけで息が苦しくなってしまうのです。この状態を気管支喘息の発作（ほっさ）といいます。

また、あまり喘鳴はみられずに咳だけが続けて出ることもあります。咳だけの時には「カゼをひいた」と思われている方も多いので

す。この咳が喘息の症状である場合は、カゼの治療だけをしては良くなりませんし、かえって症状が悪化する場合があります。

また喘鳴は他の肺の病気でもみられ、痰の多い慢性気管支炎という病気や、息切れが強くみられる肺気腫という病気でもみられます。それぞれに治療が少し異なっていることに注意が必要です。

喘息発作の原因は体の外と、体の内の両方にあります。体の外の原因はアレルギーと呼ばれるものが多いのですが、案外、発作以前はアレルギーに気がついていないことがあります。体の内の問題としては、これらのアレルギーの原因があっても、体が反応しなければ発作は起こりません。体の側がこの様な原因に非常に鋭く反応する性質を過敏性といいます。体の内外の多くの原因から、気管支に特殊な炎症がおこった状態が気管支喘息なのです。

来月は気管支喘息の治療についてお知らせいたします。

北見医師会



義歯（入れ歯）安定剤のお話

義歯安定剤とは、義歯の維持・安定が悪いときに患者さん自身が、使用する入れ歯の安定剤です。よくテレビコマーシャルなどで見かけますよね。

近年アメリカなどでは、歯科医師の指導の下で、義歯安定剤を上手に使用していきこうという風潮も出てきています。

義歯安定剤には、義歯粘着剤（クリーム・粉末・テープ〈シール〉タイプ）とホームリライナー（クッションタイプ）などの種類があります。このうち、ホームリライナーは、理工学的性質や臨床的観点より、あまり薦められないようです。しかし、義歯粘着剤は、高齢者やある種の薬物服用により唾液の分泌

量が減少している方には、今後は有効かもしれませんが、使用前にかかりつけの歯科医師に相談してみてください。

ところで市販の飲み薬などでは、外箱の容量・回数などを見ることはあっても、中に入った取扱説明書は読まない方が多いのではないのでしょうか。義歯安定剤の箱の中にも取扱説明書が入っています。実はこれには重要なことが書かれているのですが…

ほとんどの取扱説明書には、

- ・長期連用しないでください（歯ぐきがやせる、咬み合わせが悪くなる）
- ・歯ぐきがやせる等により、不適合になった入れ歯を本品で安定させるのは、一時的な場合とし、できるだけ早く歯科医師に入れ歯の調整を相談してください

と記されています。

現在、義歯安定剤を使用している方は、もう一度取扱説明書を読んでみてください。

ひょっとして、安定剤を使うことで、歯ぐきをさらに悪くしていませんか。

北見歯科医師団